

学校法人 山崎学園

富士見中学校高等学校

〒176-0023 東京都練馬区中村北4-8-26

Tel 03-3999-2136 Fax 03-3999-2129

mail@fujimi.ac.jp

<https://www.fujimi.ac.jp>



FUJIMI

FUJIMI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2022 GUIDEBOOK

富士見中学校高等学校

VISION & MISSION

VUCA時代を生き抜く基盤をつくる

今、世界は「VUCAの時代」にあると言われています。VUCAとは、Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性) という4つの単語の頭文字から成り、科学技術が急速に進展する社会で (変動性)、地球温暖化による気候変動や新型コロナウイルスの感染拡大といった予測不能な問題が起き (不確実性)、さらにグローバル化によりさまざまな価値観や文化が入り混じることで複雑さを増して (複雑性)、絶対的な正解が見つからなくなってしまった状態 (曖昧性) を言います。つまり、「VUCAの時代」とは、あらゆるものを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、将来の予測が困難な時代ということです。

これから中学生になるうとするみなさんは、自分らしく、よりよい人生を歩むためにVUCA時代をしっかりと生き抜いていかなければなりません。そのためにはいったいどんな心構えが必要となるのでしょうか？ 富士見では、その答えが本校の建学の精神にあると考えています。富士見の建学の精神は「純真・勤勉・着実」です。「純真」とは「まごころ」のことであり、感謝の気持ちや人を大切にすることを指します。そして「勤勉」とは自分のすべきことを一生懸命にすること、「着実」は一步一步積み重ねること、責任ある行動をすることを意味します。どんなに科学技術が進歩しようと、その技術を利用するのは「人」です。人が「純真・勤勉・着実」の精神を忘れては人類は決して幸せにはなれません。だからこそ、何よりも人との関係を大切に「まごころ」を育てたい。そして人々の幸せを願い、自分のすべきことを責任をもってやり続ける姿勢を身につけてほしい。富士見が創立時から守り続けた精神が、今、この時代を生き抜く基盤になると確信しています。

既存の枠から飛び出し、積極的に行動する生徒を育てる

この建学の精神の下、富士見は「社会に貢献できる自立した女性の育成」に取り組んでいます。VUCA時代の社会への「貢献」とは「さまざまな課題を自分事として捉え、解決に向けて取り組むこと」であり、「自立」とは「自分の人生を失敗を恐れず、自ら切り拓いていけること」です。現在、富士見ではあらゆる場面で、「自分の意見を形成する力」「人を巻き込む力」「課題を発見する力」といった「17の力」を生徒が自然に身につけられるようプログラムしています。生徒は「17の力」を意識して学校生活を送り、客観的に自分をふりかえることで、自分のよいところも悪いところもすべて受け入れます。それが自己肯定感につながるとともに、次の一步を踏み出すきっかけとなり、自立した学習者に成長していくのです。中高6年間のプログラムで探究学習に取り組んでいることも、「17の力」を培う大事な経験になっています。こうした取り組みを継続してきたことで、富士見生は今、大きく変わり始めています。もともと明るくのびのびとした生徒が多く、学校内の活動に非常に熱心に取り組んできましたが、最近では校内の活動にとどまらず、積極的に外部のコンテストに参加したり、海外への興味・関心を高めるなど、外の世界に目を向けて行動に移す生徒が出てきています。また、学校のきまりや行事の改革をめざしてアクションを起こしたり、授業で学んだマイノリティーの問題を全校生徒に発信したいと校内のホールにメッセージを展示するなど、自分からチャレンジングに行動する生徒が増えてきています。まさに富士見の考える「貢献」と「自立」の精神が育まれていると言えるでしょう。今後はさらに、既存の枠から飛び出して、自由な発想で、自分の学校生活を自分でデザインする、そんな生徒が育ってくれることを願っています。

失敗を恐れず、何度でも挑戦できる場所でありたい

みなさんはこれから中学・高校とさまざまな経験を重ねていきます。そのなかでは失敗したり、挫折したりすることもあるでしょう。でもたとえ失敗して下を向くことがあったとしても、そこであきらめてしまうのではなく、もう一度顔を上げて歩き始める人であってほしいと思っています。そのために、富士見では学校生活のいろいろな場面に“挑戦する機会”をつくっています。学校行事やクラブ活動・委員会活動はもちろん、日々の授業の中にも小さな挑戦のきっかけが散りばめられています。また、探究学習や海外研修・留学生との交流・ベトナムグローバルリーダー研修など、オリジナルプログラムも充実しています。今年度は東京理科大学との教育連携も始まりました。そのなかで私たち教員が心がけているのは、生徒のよいところを伸ばすことです。そして「失敗しても戻ってこられる場所がある」と実感し、安心して何度でも挑戦できる環境をつくることです。手をかけ過ぎるのではなく、できるだけ生徒の行動を見守り、失敗も挫折も、次につながるステップになるように促していきます。富士見は、誰もが「ありのままの自分でいいんだ」と感じることができ学校です。人を傷つけることさえなければ、臆せず、思う存分、自分を表現してほしいと思います。いろいろなことに興味をもち、将来の幅を広げるチャンスをたくさん用意しているので、ぜひ楽しみにして入学してください。

富士見中学校高等学校 | 学校長 | 佐藤真樹

Principal Masaki Sato



富士見の校章

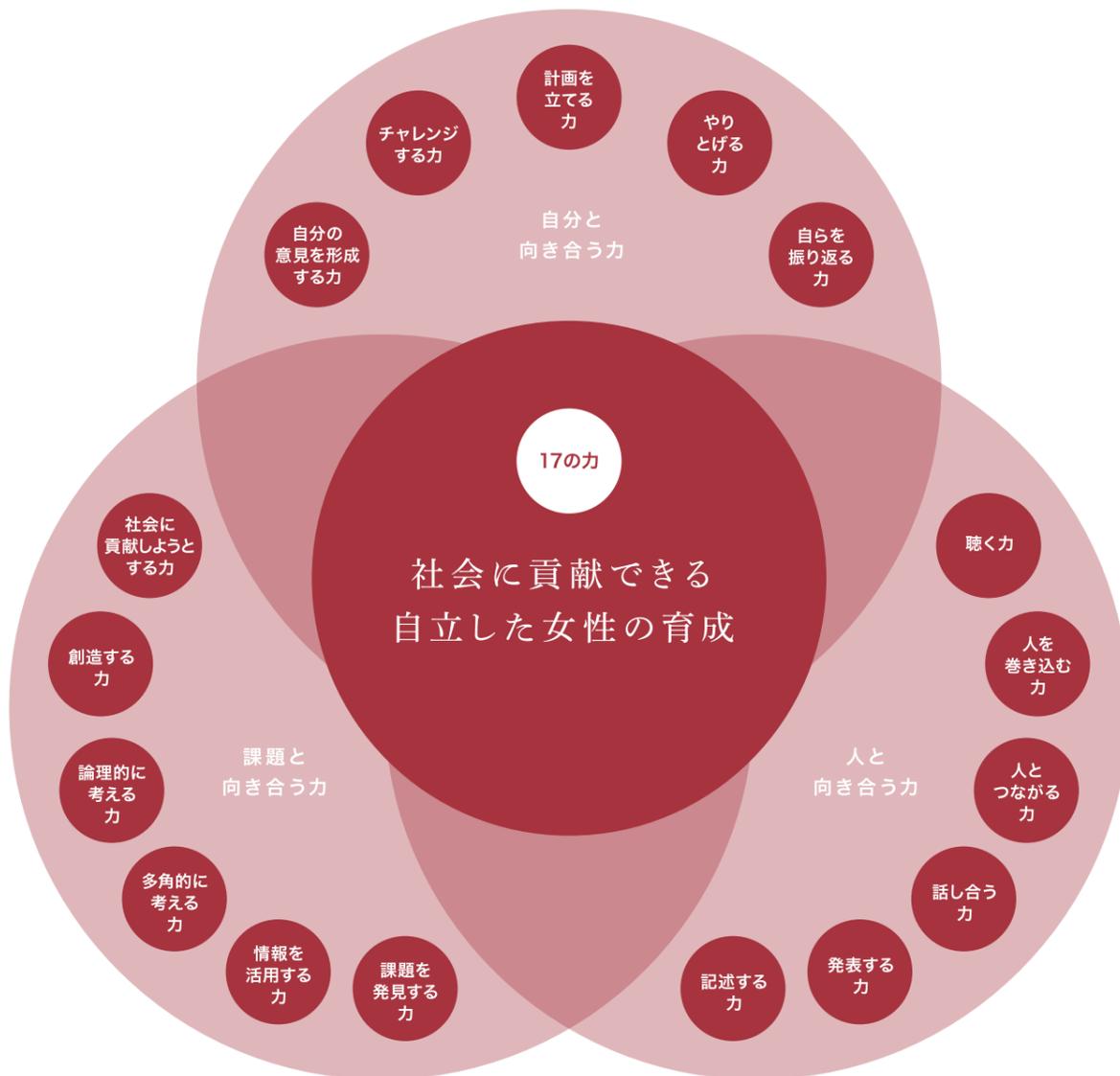
ふちどりのハート型はやさしく豊かな心を、三つの角は富士をかたどっています。その中の文字は、富士見のイニシャルのF。白は建学の精神である「純真」を、臙脂(えんじ)は「勤勉」「着実」を表しています。



17 SKILLS

17の力

これからの予測できない多様化していく社会のなかでは、「さまざまな課題を自分事として捉える」「異なる文化背景をもつ人と協働する」「課題解決にあらゆる視点から取り組む」が必要です。「自分と向き合う力」「人と向き合う力」「課題と向き合う力」を富士見では「17の力」に具体化しており、6年間のあらゆる教育プログラムのなかで身につけていきます。



自分と向き合う力

Personal Growth

多様化する社会で国も文化も異なる人々と互いに共生していくために、まずその土台となる“自分自身”と向き合い、“自分”を知ること、自らのアイデンティティ（自己認識）を確立していきます。「自分と向き合う」ためには「ふりかえり」をすることが大切です。富士見ではあらゆる教育活動のなかで「ふりかえり」を行っています。



人と向き合う力

Mutual Growth

自分のアイデンティティを大切にしながら、さらに他者を理解することで、社会と“自分”との関わりを広げていきます。校内での活動はもちろん、学校の枠を超えたさまざまな機会を通して、この世界でともに生きる共生・協働の精神を育んでいきます。



課題と向き合う力



Task Achievement

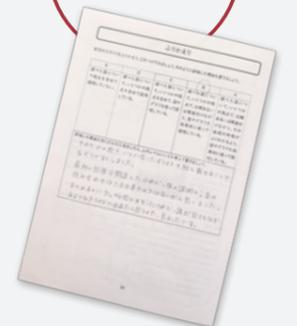
社会の変化がますます加速しているなか、知識を活用して、複雑な課題を解決し、新しい価値を生み出す力が求められています。中学3年間では「問う」「調べる」「伝える」を何度も繰り返し、生徒たちは自らの力で、あるいは多様な人々と協働しながら、課題に粘り強く向き合う姿勢と体力を育みます。

RUBRIC

一人ひとりが「今の自分」と向き合い、「なりたい自分」を描く

ルーブリックとは、一人ひとりの学習到達状況・学習パフォーマンスの質を評価するための評価基準マトリックスです。富士見では学習に限らず、あらゆる教育活動のなかで、縦軸に「17の力」に基づく評価観点（評価項目・定義）を、横軸にSからEの到達レベルを置き、生徒自らその評価を行っています。ルーブリックでふりかえることにより、生徒は目標や課題点をしっかりと認識したうえで、これまで以上に積極的・意欲的に何事にも取り組んでいきます。富士見が大切にしている教育を推し進めるなかで、知識と社会を結びつけることにより、一人ひとりのメタ認知（客観視）力・自己肯定感を高めながら、ルーブリックを活用して自立した学びへ導いていきます。

ルーブリック評価



INQUIRY BASED LEARNING

探究学習

探究学習は、自分で課題を設定し、情報を収集・整理・分析して、ほかの人と対話・協働しながら、自分の考えをまとめ・表現する学びです。中学では探究に必要な基本的なスキルを身につけられるように、中1は「問う」、中2は「調べる」、中3は「伝える」を重点目標としています。高校では中学で培ったスキルを活かし、社会の課題と自分の興味・関心をつなげます。「自分だからこそ社会に貢献できる強みを見つけてほしい」とそんな思いでつくられているのが富士見の探究プログラムです。



my 探究

Senior Thesis

中学3年間の学びの集大成となる「my探究」は、自分でテーマを決めて探究します。中2の3学期からスタートし、はじめは中1・2の学びをふりかえりながら、自分の関心事を探ります。自分が1年間探究していきたいテーマを決めたら、文献調査からはじめます。そして、もっと深めたいことを実際の現場で確かめるフィールドワークを行い、最後は論文の形で成果をまとめます。探究をすすめる過程で、ほかの人と共有し、フィードバックをもらうことで、新たな視点を獲得、自分の研究をふりかえることができます。



SDGs

Sustainable Development Goals

SDGsとは国連が採択した、2030年までに達成をめざす17の国際目標。SDGsを達成するためには、まず社会の課題が何かを知ることが必要です。そして特に大切なのが、解決のための「アクション」です。「SDGs探究」では、関心のある目標に近い生徒同士でチームをつくり、フィールドワークやインタビューをします。その過程で、SDGs達成に向けて一生懸命取り組んでいる大人と出会い、社会の課題を体感します。そうした経験から自分たちができることは何かをじっくり考え、行動に移し、最後は1年間の活動を在校生に向けて発表します。



Junior High School

中1は「モノ」をテーマにした「モノ探究」、中2は練馬区の地域をテーマにした「ねりま探究」、というように、全員同じテーマで探究をします。そして中3ではじめて、自分でテーマを決める「my探究」をします。3年間を通して探究する学びに必要な基本的なスキルを身につけ、自分の興味・関心を見つけていきます。また、異なる学年で学びの成果を発表する機会を積極的に設けています。

Senior High School

高1は「SDGs」をテーマにした「SDGs探究」にグループで取り組み、社会の課題に目を向けます。そして高2から高3にかけて、富士見での学びの集大成となる「学びの履歴書(卒業研究)」に挑戦。社会の課題と自分の興味・関心をつないで探究しながら、自分のキャリアを考えます。また、校内にとどまらず、校外での発表会への参加を推奨しています。

STUDY COMPETITION

外部コンテスト

「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加

「図書館を使った調べる学習コンクール」は公益財団法人図書館振興財団が主催し、練馬区立貫井図書館が地域コンクールを開催しています。毎年、全学年で取り組みを奨励し、応募は任意としています。2020年は、中学生・高校生が応募し、中1の生徒2名が入賞しました。

- 2020年 第4回「練馬区立貫井図書館 図書館を使った調べる学習コンクール」
- 優秀賞・・・「マックのポテトを持ち帰りたい!」[中1]
- 審査員特別賞・・・「無形文化遺産に登録されている和紙」[中1]





中学3年 | 高橋比菜・宮永 芽
Hina Takahashi・Mei Miyanaga

仲間と取り組むことで、アイデアが価値あるものになることを実感しました

中2の探究学習「ねりま探究」は、5人ずつのグループに分かれて、練馬区にある「石神井ふるさと文化館」「練馬観光センター」「中村橋商店街」「貫井図書館」の抱える課題について考え、解決法を提案するプログラムです。私たちは「石神井ふるさと文化館」の担当になり、「どうしたらもっと中学生が来館してくれるようになるか」という課題に取り組みました。

まず、一人ずつで考えた「アイデアの種」を持ち寄り、話し合うことからスタートしました。インスタやツイッターなどSNSを利用する案や、アニメやYouTuberとコラボする案なども出されましたが、近所の美術館で行われている「ナイトミュージアム」を思い出して提案したところ、みんなが賛同してくれてテーマに決定。そこにアイデアを足したり、引いたり、かけたり、割ったりして、ふくらませていき、「お化け屋敷とイルミネーション」という企画で具体化していくことになりました。その後、「ナイトって何時から?」「費用はどうする?」「来館は予約制?」など、さまざまな問題につい



て話し合うなかで、「石神井ふるさと文化館」の方から「楽しいだけでなく、学びが必要」というお話があり、以前、お祭りのワークショップに参加した経験からヒントを得て、「裏方の作業を中学生が体験する」という企画をプラスすることにしました。その後もさらに内容を深めていき、最終的に「石神井ふるさと文化館」担当の代表チームに選出! 学校の講堂で行われた大発表会で発表を行いました。たくさんの人の前で緊張したり、工夫して作ったスライドが大画面にうまく映らないなどのアクシデントもありましたが、みんなから高評価をもらえて、達成感でいっぱいになりました。

この探究を通して何よりも強く感じたのは、仲間と一緒に取り組むことで、小さなアイデアがどんどん大きく、価値あるものになるということです。意見が合わなかったり、なかなか答えが見つからず、悩むこともありました。たくさん話し合っ乗り越えることができました。また、学校以外の場所でも人の役に立てることを実感し、今後につながるすばらしい経験になったと感じています。



学びのインタビュー

富士見が「17の力」を育むために大学習があります。ここでは、中2で探究プログラムを経験した生徒の活動

切にしている学びのひとつに、探究実施する「ねりま探究」と、高校探と、そこで得た学びを紹介します。



高校3年 | 吉村花香
Hanaka Yoshimura

自分が社会とつながっていると実感し、貢献する自覚も生まれました

高2・3の探究学習「学びの履歴書」のテーマとして「発電から見る地球温暖化(エネルギー問題)」を選んだのは、「Fukushima50」という映画を観たのがきっかけです。これは東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故現場で奮闘する人々の姿を描いた映画で、私はそれまで福島に関心があったわけではないのですが、「こんな危険な方法でしか発電はできないのか」「発電と人々の生活はどう関わっているのだろうか」と問題意識をもつようになりました。もともと「人」と「生活」に興味があり、中3の卒業研究では「色弱者がよりよい生活を送るためには何が必要か」、高1のSDGs探究では「紛争地域の人と生活を日本人が知る意義とは」をテーマにしていました。探究学習以外でも、ベトナムグローバルリーダー研修に参加して、ベトナムの人々の生活環境について調査しています。今回は、発電にどんな種類があるかを調べるところから始めて、原子力発電が効率のよい方法だということや、火力発電が地球温暖化の原因になっていること、再生可能エネルギーは効率が悪く、



現状では供給が間に合わないことなどがわかりました。さらに福島の原子力発電所が東京に電力を供給していたことを知って、「東京で電力を自給することはできないのか」という疑問をもち、再生可能エネルギーを活かす都市型のエネルギー自給についても考察しました。以前、東京駅で、乗客が改札を通過する振動で電気を起こす「発電床」の実証実験が行われたことも知り、今後は、自分でも新たな発電方法を発案できたらと考えています。

探究学習では、情報を収集したり調べたりすることで、「自分の知らなかったことを知る」楽しさを味わいました。SDGsへの理解も深まり、自分が学校だけでなく、社会そのものにつながっていることを実感して、貢献する自覚も生まれました。また私は文系を選択していますが、この探究を通して物理的にエネルギーを生み出すしくみに興味をもち、理系分野にも視野が広がりました。大学では、さらに幅広く人間と環境の関係を学び、人間の在り方について考えていきたいと思っています。

SCIENCE

サイエンス

富士見では、2020年に東京理科大学との連携協定を締結。今後、さまざまなサイエンスプログラムを企画し、理学的アプローチで「社会のさまざまな課題を自分事として捉え、その解決に取り組む女性」を育成します。

Partnership with Tokyo University of Science

2020年、富士見中学校高等学校・東京理科大学間で、教育における高度な連携を図る協定が締結されました。この協定は、富士見と東京理科大学が「中等教育と高等教育との円滑な接続を図り、学びへの興味を深め、意欲的に勉学に向かう姿勢を育む」「将来、高い専門性と倫理観、国際的な視野をもった人材となり、社会に貢献できる人材を育成する」ことを目的に締結。今後、東京理科大学教員による模擬授業や実験実習への参加、研究室訪問など、高1・2を中心に複数の連携プログラムを導入し、コンテンツの充実を図る予定です。富士見では、ただ知識を得るだけでなく、「自ら課題意識をもち、知識を活かして課題解決に取り組める生徒の育成」をめざしています。今回の連携協定により、東京理科大学の先進的な研究や教育に触れ、社会的課題解決への理学的アプローチに気づき、考えを深める機会がこれまでも増して多くなります。そして教科としての理系科目と探究学習との連携についても、一層の充実が期待されます。富士見はこれからも「社会に貢献する」ために文理の枠にこだわらず、やりたいことに果敢にチャレンジする「自立した女性」を育成していきます。

サイエンスへの興味を深め、意欲的に学びに向かう姿勢



東京理科大学との連携

GLOBAL AWARENESS

グローバル

富士見では、世界を肌で感じる機会を数多く用意しています。文化・考え方の多様性を体で感じ、大きく視野を広げて自分と世界をつなげる姿勢を育むことも、国際交流の大切な目的です。多感な時期にこそ「外の世界」へと果敢にチャレンジし、失敗も含めてより多くを体験することが、その人だけのかけがえのない「経験値」になります。世界を感じるまたとないチャンスに、勇気を出して飛び出しましょう。

海外研修

Overseas Programs

ホストファミリーとの生活や現地の人々との交流が体験できるアメリカやオーストラリア・台湾での研修プログラム、そして姉妹校である台湾曙光女子高級中学で日本文化の発表をするなど、目的に応じてさまざまな研修プログラムを用意しています。ベトナムで実施するグローバルリーダー研修では、現地大学生とのフィールドワークを通じ、現地の困っている人たちの解決策をまとめたプレゼンにチャレンジします。



国内での多文化交流

Intercultural Exchange

来日中の海外の中高生と交流する行事を年間数回実施しています。また、文通やビデオレター・オンラインなどでも海外の学生と活発に交流しています。2020年度は姉妹校である台湾の曙光女子高級中学やイスラエルの学校と交流を実施しました。また、模擬国連の大会や練習会では有志の生徒が参加し、一国の大使役となって他校の生徒との交渉に臨みます。2020年度は全日本高校模擬国連大会に高2の生徒が出場しました。さらに、近年は生徒が運営する校内模擬国連「富士見会議」も開催しています。



留学

Studying Abroad

ニュージーランド提携校(6校)での70日間のターム留学と、うち2校への1年留学を実施しています。現地の学生や他国からの留学生とともに学ぶことで、日本とは違う価値観・文化に触れ、チャレンジする力や人とつながる力を身につけます。帰国後は、後輩たちへ向けて英語による留学報告プレゼンテーションを行います。



留学生受け入れ

Accepting International Students

ニュージーランド・台湾の姉妹校から毎年、留学生を受け入れています。留学生は在校生宅にホームステイし、授業やクラブに参加。刺激し合い、助け合いながら友情を育んでいきます。また、富士見は文部科学省の補助事業である「アジア高校生架け橋プロジェクト」のホストスクールであり、これまで韓国・ベトナムからの留学生の受け入れを行っています。



【姉妹校】●新海市私立曙光女子高級中学 [台湾] ●Palmerston North Girls' High School [ニュージーランド]
【ニュージーランド協力校】●Baradene College of the Sacred Heart ●Freyberg High School ●Whangaparaoa College ●Hastings Girls High School ●Whanganui Girls' College

SCIENCE PROGRAM

連携プログラム

理系への理解を深め、興味・関心の芽を広げる高大連携プログラム

現在予定している東京理科大学との連携プログラムは、以下の通りです。

【高1】●理工系ガイダンス●東京理科大学学部学科紹介動画視聴 ほか

【高2】●模擬授業●研究室訪問●研究室訪問まとめ発表 ほか

東京理科大学の教員による理系進学(選択)についてのガイダンス、大学に赴いての模擬授業受講・研究室訪問・共同研究など、理系への興味・関心を広げ深めるプログラムの実施を年間数回、予定しています。

ほかにも、GIYSEプログラム(東京農工大学)・高校生と大学生のための金曜特別講座(東京大学教養学部)への参加など、希望者を対象に複数の高大連携プログラムも実施しています。



GLOBAL CENTER

グローバルセンター

世界をもっと身近に！ 専門スタッフが常駐する「グローバルセンター」

富士見では、これまで以上にグローバル教育を推進し、生徒が海外とのつながりからより学びを深められる環境を整備するために、校内に「グローバルセンター」を設置しました。富士見のグローバル教育は「異文化(多様性)への理解」「地球規模で考える複眼的な思考の醸成」「自己の確立」「外国語・コミュニケーション能力の向上」「アジア諸国・発展途上国への理解」を目的としています。これら富士見グローバル教育のさらなる充実と、海外の大学進学を希望する生徒へのサポートおよびバックアップを主眼に設置された富士見の「グローバルセンター」。自分の座標軸をしっかりとち、異文化と多様性への理解を深めることで、グローバル化する社会に貢献できる自立した女性を育成していきます。



EDUCATION

教科教育

富士見では課題解決に必要な「思考力・判断力・表現力」をあらゆる教科のなかで育てています。同時に、生徒の興味・関心を広げ、好奇心を刺激する授業を行っており、そのひとつに「プロジェクト型学習 (Project Based Learning)」があります。こうした授業を通して、生徒はさまざまなツールを活用しながら、自立した学びを行っています。

フォーサイト手帳

Foresight Planner

6年間の充実した成長の土台となるのは、「計画を立てる力」や「ふりかえる力」などです。富士見では、「フォーサイト手帳」を使って、スケジュールを把握し、自分の生活リズムに合った計画を立てています。日々の授業やクラブ・課外活動など、活躍の場が広がるこの時期に自らの生活をしっかり捉える習慣を身につけ、主体的で自立した学校生活を送ることをめざしています。

フォーサイト手帳とは…

中学3年間を通して、毎日の「スケジュール」と「ふりかえり」を記入する手帳です。次の日の持ち物や授業内での提出物などを記入したり、帰宅後の時間をどのように過ごすか、計画を立てたりふりかえることで、安定した生活リズムをつくる手助けとなっています。



絵画から物語を創作

中2 国語

Japanese Language

クラス全員で創作の土台になる絵画を見て、どのような物語が創れそうかのアイデアを出し合います。同じ絵画を見ているのに、一人ひとり全く異なる発想をすることに生徒たちは驚きます。そして表現やストーリー展開の優れたいくつかの物語を読み、プロ作家の技も学習。まさに「生みの苦しみ」にもがきながら、個性あふれる作品を書き上げます。最後はルーブリック評価と推敲を重ね、クラスごとに物語作品集を作成します。



授業で用いた絵画：ロシアの画家・イリヤ・レービンの『思いがけなく』

中1 生物

カイワレ大根の比較栽培実験

Advanced Biology

2つの異なる栽培条件を自分たちでデザインし、実際に栽培して得られた結果を表計算ソフトなどを使って分析。そこからどんな考察が導けるかをチームのメンバーと相談しながら、発表に向けたプレゼンテーションを作成します。全員が栽培を経験し、テーマ設定から発表のための資料のデザインまですべて自分たちで考えているので、発表後の質疑応答でも中1生であることを忘れてしまうような鋭い質問が飛び交います。



ICT BASED EDUCATION

ICT 教育

特別な道具ではなく、「わたしの文具」として使いこなすタブレット

富士見では全学年でひとり1台のiPadを使用しています(個別アカウントを付与)。調べ学習での使用やプレゼンテーション資料の作成、学校からの連絡、課題の提出など、オンラインでのさまざまなやりとり幅広く活用しています。校内は、高速大容量の通信ネットワークシステムやクラウドなど、GIGAスクールとしての環境が整備されています。2020年4月の緊急事態宣言下での休校期間中は、Google Classroomを利用して全学年・全教科でWEB授業を配信しました。朝のホームルームと授業配信、L-Hubサイト(図書館サイト)の公開など、規則正しい生活リズムを保ちながら「学びを止めない」ためのさまざまな取り組みを実施しました。



Contemporary Society

“多様性 (Diversity)”について考える校内キャンペーン。生徒たちは開催のために、「マイノリティ (少数派)」が生きづらさを感じるのはどんな社会課題があるからなのかを、さまざまな文献から情報収集。そして、答えがひとつではない問いについて対話をしながら考える活動である「哲学対話」を通して思考を深めます。最後には、社会課題の解決につながる「コトバ」を考え、一人ひとりカードをデザイン。カードの展示場所や方法にもこだわり、他学年の生徒や教職員の関心をひくような展示を行いました。

高2 現代社会

富士見ダイバーシティイニシアティブ

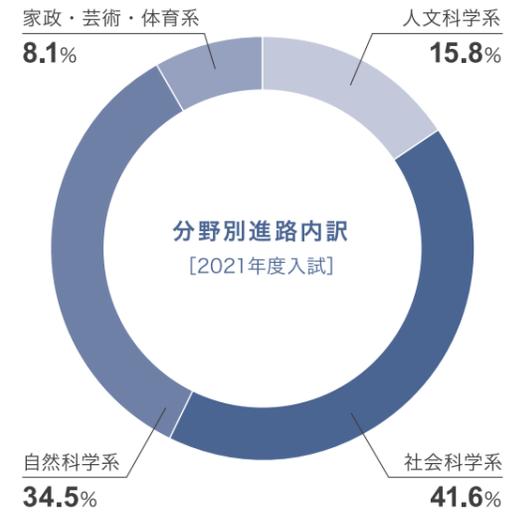
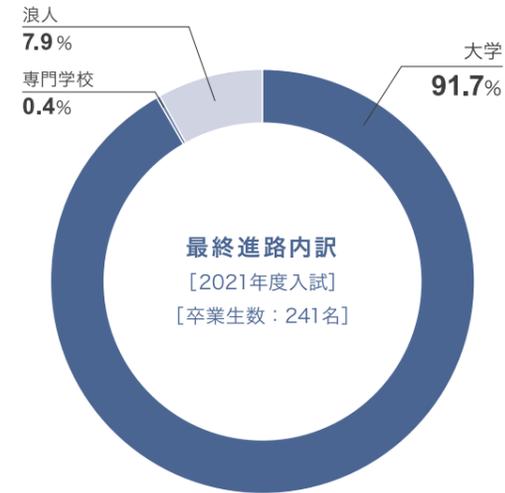
CAREER GUIDANCE

進路指導

富士見では、各学年で生徒の発達段階を考えながら、それぞれの自己実現を援助していくための進路指導を実践しています。「1. 自己理解や自己発見を深める」「2. 社会を知り、社会と関わり、思いやりの精神を育む」「3. 先輩の生き方・考え方を学び、自分の将来をみつめる」これら3つを核として、生徒自身が自分の手でよりよい未来を切り拓くための手助けとなるようプログラムしています。



テーマ	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
	自分を知る	自分を表現する	自我の確立に向かう	自らを発展的に捉え再認識する	社会と自分のつながりに気づく	自己実現に向かう
目標	自ら学ぶ姿勢を身につける			キャリアを描き実現する力を身につける		
	学習習慣を確立する	他者と関わり社会を知る	社会性を育て指導力を発揮する	自己認識・理解をより深める	進路実現のためにやるべきことを考える	大学の学部・学科を知り、自分の生き方を考える
プログラム	グループワーク					
	みらいPASSジュニア	ボランティア		夢ナビプログラム		学びみらいPASS
		卒業生シンポジウム(社会人)		卒業生シンポジウム(大学生)		
	保護者による講演会	卒業生シンポジウム(社会人)		卒業生シンポジウム(大学生)		卒業生進学ガイダンス(大学生)
		卒業直後の生徒からのアドバイス		卒業直後の生徒からのアドバイス		卒業生進学ガイダンス(大学生)
	卒業生シンポジウム(国公立・早慶大学生)					
	大学見学&体験授業(希望者)					
	大学訪問・オープンキャンパスレポート					
	学部学問内容紹介・大学模擬授業ウィーク					
	大学説明会(大学紹介)					
大学説明会(入試情報)						
面談ウィーク						



□大学別合格実績 [2021年度入試]

国公立大学・大学校	総数	現役	浪人	私立大学	総数	現役	浪人
北海道大学	1		1	成蹊大学	24	24	
筑波大学	1	1		成城大学	20	17	3
埼玉大学	1	1		武蔵大学	56	56	
千葉大学	1		1	明治学院大学	18	18	
お茶の水女子大学	1	1		日本大学	62	56	6
東京大学	1	1		東洋大学	84	83	1
東京医科歯科大学	1	1		駒澤大学	16	14	2
東京外国語大学	3	3		専修大学	11	8	3
東京学芸大学	2	1	1	岩手医科大学	1		1
東京農工大学	5	5		東北医科薬科大学	1		1
福井大学	1		1	獨協医科大学	1		1
京都工芸繊維大学	1		1	埼玉医科大学	2	2	
神戸大学	1		1	杏林大学	5	4	1
宮崎大学	1	1		昭和大学	10	10	
国際教養大学	1	1		東京慈恵会医科大学	1	1	
千葉県立保健医療大学	1	1		東京女子医科大学	3	2	1
東京都立大学	8	8		日本医科大学	1		1
名城大学	1	1		聖マリアンナ医科大学	3	2	1
防衛大学校	1	1		愛知医科大学	1	1	
防衛医科大学校	3	3		藤田医科大学	1		1
国立看護大学校	1	1		聖路加国際大学	1	1	
国公立大学・大学校計	37	31	6	日本赤十字看護大学	3	3	
私立大学	総数	現役	浪人	昭和薬科大学	2	1	1
慶應義塾大学	18	17	1	東京薬科大学	10	8	2
早稲田大学	48	46	2	星薬科大学	2	2	
国際基督教大学	3	3		明治薬科大学	8	7	1
上智大学	14	14		千葉工業大学	16	8	8
東京理科大学	21	19	2	北里大学	3	1	2
青山学院大学	26	24	2	工学院大学	9	7	2
学習院大学	6	6		芝浦工業大学	30	26	4
中央大学	48	45	3	東京電機大学	12	9	3
法政大学	91	85	6	東京農業大学	53	52	1
明治大学	78	76	2	東邦大学	6	6	
立教大学	77	74	3	日本獣医生命科学大学	5	5	
津田塾大学	11	10	1	東京都市大学	8	6	2
東京女子大学	42	39	3	立命館アジア太平洋大学	2	2	
日本女子大学	39	36	3	私立大学計	1,013	936	77

□学校推薦型選抜(指定校)

[2021年度入試：11名合格/11名出願]

- 青山学院大学[理工]●学習院大学[法・経済・文・理]●慶應義塾大学[法]●国際基督教大学[教養]●上智大学[外国語・理工]●中央大学[法・商・文・総合政策・理工・国際経営・国際情報]●津田塾大学[学芸・総合政策]●東京女子大学[現代教養]●東京薬科大学[薬・生命科]●東京理科大学[理・工・先進工・経営]●日本女子大学[家政・人間社会・理]●法政大学[情報科・理工・生命科]●明治大学[総合数理]●早稲田大学[文化構想・基幹理工・創造理工・先進理工]●明治薬科大学[薬]●成蹊大学[経済・経営・理工]など約100校



CAREER PROGRAM

進路プログラム

「社会のなかでどう生きていきたいか」という視点で未来をデザインする

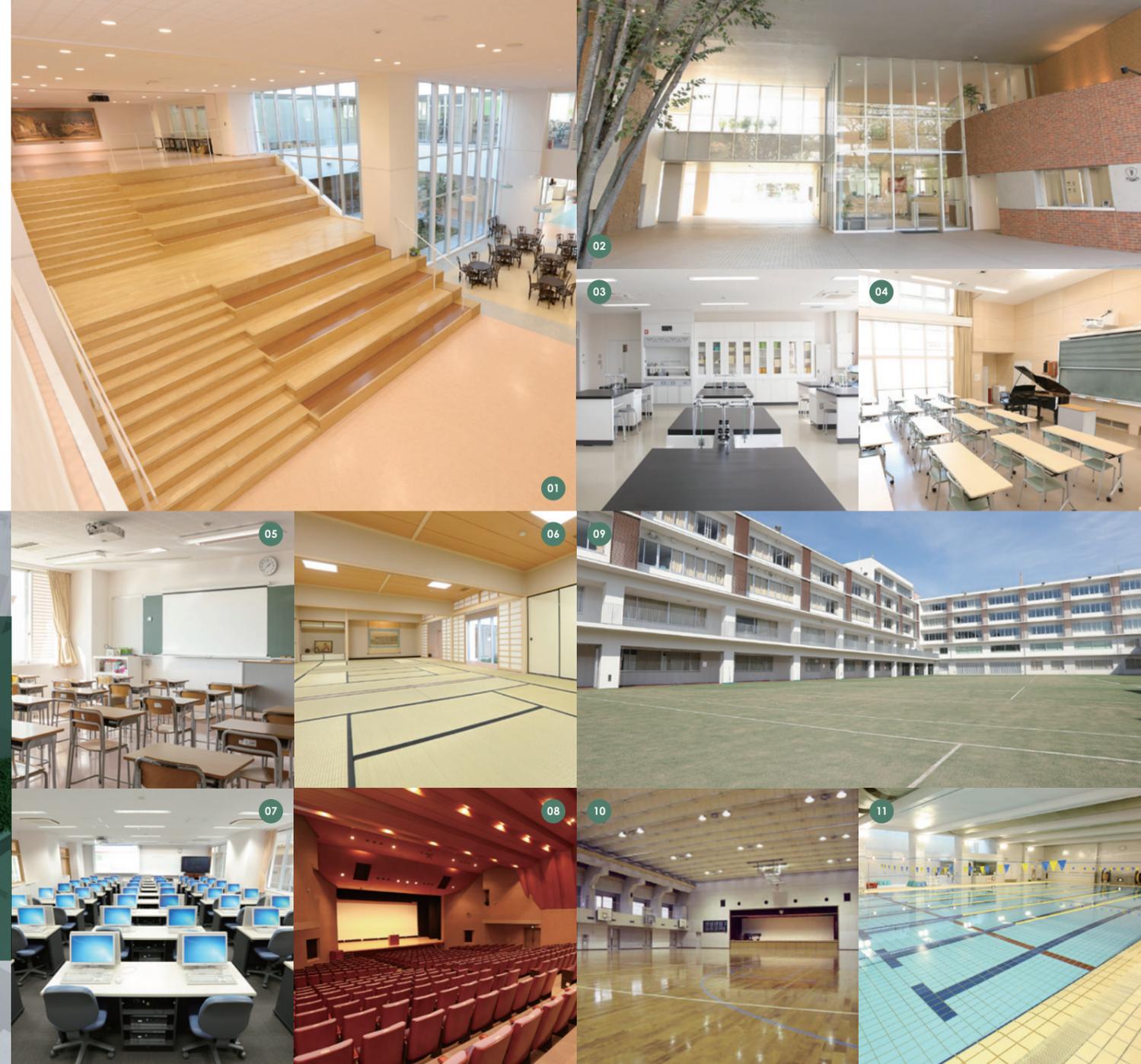
大学受験を終えたばかりの卒業生が、高校進学を控え将来を具体的に考えはじめた中3生や1年後に大学受験に臨む高2生へ向けて、自らの経験を活かしたアドバイスを行う「卒業直後の生徒からのアドバイス」。国公立・早稲田・慶應義塾大学へ進学した卒業生を招いての「国公立・早慶大学卒業生シンポジウム」。私立大学の入試担当者から最新の入試対策や学部紹介を受ける「大学説明会」。大学の教授を招いて授業を行ってもらった「学部学問内容紹介・大学模擬授業ウィーク」。生徒が大学に足を運んで体験する「大学見学&体験授業」。ほかにも、保護者による講演会や進路適性検査・外部模擬試験・面談ウィーク・キャリア甲子園(希望者)など、さまざまな角度から進路選択・キャリアデザインのためのコンテンツを用意しています。



FACILITIES

教育環境

2020年に迎えた創立80周年記念事業の一環として建設された富士見の校舎。シンボルは1日中、生徒が行き交うセンターホールです。そのほか、3つの理科実験室や2つの音楽室などの特別教室、テニスコート6面が確保できる人工芝のグラウンド、各学年に設けられた教室フロアのコモンスペース、売店併設のラウンジ、生徒から「エルハブ」と呼ばれ親しまれる図書館など…。快適な学習環境を用意しています。



- 01 センターホール
- 02 ファサード/正門
- 03 化学実験室
- 04 音楽室
- 05 普通教室
- 06 和室
- 07 パソコン教室
- 08 山崎記念講堂
- 09 グラウンド
- 10 体育館
- 11 温水プール

Interviews



LEARNING HUB

L-Hubを活用して幅広く学んでいます

中学2年 | 渡部江葉

L-Hub (エルハブ) は読書はもちろん、調べ物をしたり自習したりと、いろいろな使い方ができる富士見の「学びの中心」です。授業で使うことも多く、探究学習を通してすべての教科が繋がっているのを実感できる場所でもあります。季節に合う本や授業で扱う課題に関連する本を集めたコーナーもあるし、図書委員や先生方がおススメ本を紹介するポップを貼ってくれているのも楽しいです。友だちとも「L-Hubに行こうか」「L-Hubで待ってるね」と気軽に声をかけ合って利用しています。またコロナ禍で休校措置がとられたときはL-Hubサイトが作成され、Web上で読める電子辞書や書籍を借りることもできました。L-Hubサイトは、社会科の授業で新聞の電子版を読むなど、今も活用しています。これからもL-Hubを使って幅広く学んでいきたいです。



学びの核となる図書館

Learning Hub

さまざまな学びを支援する図書館は「Learning Hub」(略してL-Hub)と呼ばれる2フロアの独立棟。2階は探究学習や学び合いに最適な空間として設計されたフロア。ひとりで調べたり、グループで話し合ったりが自由にできる机や椅子、無線LANやプロジェクターを完備して、全体共有もできる場です。3階は思い思いに読書できるように、ソファや椅子を多く配置したフロアです。



EVENTS

学校行事

富士見の伝統は「生徒主体」。何ことにも積極的に関わり活動する姿勢が、富士見生のイキイキと活発な様子にも現れています。なかでも芙雪祭・体育祭は、その“富士見スピリット”がいかに発揮される特別な行事。また、生徒総会・全校朝礼も生徒自身の手でプロデュースしています。どの行事も、見事な盛り上がりを見せる富士見の行事。誰もが主体性をもって「自分事」として関わる姿勢の賜物です。



芸術鑑賞会

Art Appreciation

中学は雅楽・歌舞伎・ミュージカルを、高校はオペラ・狂言を鑑賞する機会を用意しています。富士見の芸術鑑賞会は、人間国宝の野村萬氏(狂言鑑賞教室)や東儀秀樹氏(雅楽)をお招きするなど、校内にいながら一流の演奏・演技を間近で鑑賞できるまたとない機会。生徒たちは、6年間を通して文化的・芸術的な感性を高め育んでいます。

体育祭

Sports Festival

6月には、全校生徒で取り組む体育祭が行われます。全校生徒が3色に分かれ、さまざまな競技種目で火花を散らします。また、中1・3のマスゲームが披露され、最後は高3の創作ダンスで幕を閉じます。各クラスからダンス委員が選ばれ、音楽・振りつけ・フォーメーションなどすべて自分たちで創り上げ、毎年、さまざまな扇の舞を見ることができます。



芙雪祭

Culture Festival

9月には、富士見生のパワーが存分に発揮される学校最大の祭典、芙雪祭が行われます。中1・2は探究学習の経過を発表し、中3から高2はクラスごとに企画をデザインします。昨年は「inNOVation(革新)」というテーマにふさわしく、積極的にオンラインの企画を公開するなど、新たな表現手段を模索しながら開催しました。

4

APRIL

- 新入生オリエンテーション [4日間]

5

MAY

- 学年遠足 [中1・3・高1・3]
- 沖縄体験学習 [高2: 4泊5日]
- プログラミング教室体験会 [中1]
- フィールドワーク [中2]

6

JUNE

- 体育祭
- 芸術鑑賞会 [中1～3]
- 狂言鑑賞教室 [高2]
- 生徒総会 [高校]

7

JULY

- 芸術鑑賞会 [高1]
- 生きもの探究教室 [中1: 長野県佐久市/2泊3日]
- ニュージーランドターム留学 [7月中旬～9月末/希望者]
- ホームステイ [高1: アメリカ・オーストラリア/約2週間/希望者]

8

AUGUST

- クラブ合宿
- 台湾曙光女子高級中学との交流・ホームステイ受け入れ [3泊4日/希望者]

9

SEPTEMBER

- 芙雪祭 [文化祭]

10

OCTOBER

- 探究Day [中1～3]

11

NOVEMBER

- 中学合唱祭 [中1～3]
- 生徒総会 [中学・高校]

12

DECEMBER

- スキー教室 [希望者/志賀高原]
- ベトナムグローバルリーダー研修 [3泊5日/希望者]

1

JANUARY

- ダンス発表会 [高1]
- ニュージーランド1年留学 [1月下旬～/希望者]

2

FEBRUARY

- Global Village [中1]
- International Days [中2]
- 修学旅行 [中3: 奈良・京都/3泊4日]
- 探究学習発表会 [高1・2]

3

MARCH

- 卒業式 [中3・高3]
- クラブ合宿
- 台湾教育旅行 [4泊5日/希望者]

Interviews



CHORUS FESTIVAL

みんなの力を結集して、自分たちの合唱祭を創り上げました

高校1年 | 山根千伶・荻野美音

芙雪祭や体育祭など、富士見生が力を入れる行事のなかで、中学生だけで開催する合唱祭は、特にクラスの団結が強まる行事。音楽の授業はもちろん、朝・昼・放課後と練習に打ち込み、クラス全体で美しいハーモニーをめざします。ときには各自の思いや温度差から意見が対立することもあります。当日はクラスがひとつにまとまって感動のフィナーレを迎えます。昨年はコロナ禍での開催となり、中3だけの演奏のみとし、動画配信をしました。十分な距離を取り、マウスシールドなどの感染対策をしながらできることを考え、練習もインターネットを使って家で取り組む工夫をしました。また中1・2も参加できるように実行委員で話し合い、動画による全クラスの「校歌リレー合唱」を実施。困難な状況下でもみんなの力を結集し、自分たちの合唱祭を創り上げられたことは、最高の経験になりました。



Global Village・International Days

Global Village・International Days

中1が取り組むGlobal Villageでは、日本で学ぶ留学生との交流を通じて、多様な世界・文化に触れていきます。中2が取り組むInternational Daysは3日間にわたるプログラムになっており、授業で学んだ英語力を活用しながら、探究学習の一環として、疑問をもち、調べる力を養うことを目的としています。



CLUBS

クラブ活動

クラブ活動は兼部も含め最大週4日まで。なかでも中学生の入部率は高く、中1の入部率は100%超、高校でも75%以上の生徒が勉強と両立させながら活動しています。富士見ではクラブ活動も大切な人間教育の場と捉えており、全教員がいずれかのクラブ顧問に就任しています。全国大会出場のクラブもあるなど、活発に活動している富士見のクラブは、学年・クラスを超えた絆を育む機会にもなっています。



体育部

陸上/卓球/水泳
 剣道/バレーボール
 バスケットボール
 ソフトテニス
 体操競技/ダンス
 新体操/ソフトボール
 テニス/フットサル
 バドミントン [高校]
 合気道 [高校]

文化部

合唱/書道/演劇
 美術/吹奏楽
 英語/パソコン/写真
 ESS/科学/料理
 漫画研究 [高校]
 軽音楽 [高校]

同好会

園芸
 被服
 漫画研究 [中学]
 軽音楽 [中学]
 バドミントン [中学]

課外教室

箏曲 (山田流)
 華道 (草月流)
 茶道 (表千家・裏千家)



CLUB ACTIVITIES

クラブ活動で人と関わることの大切さを学びました

高校3年 | 佐藤晴香・浅沼陽香

富士見には30以上のクラブ・同好会があり、みんなそれぞれ熱心に活動しています。高校受験がないため、時間にも気持ちにも余裕があり、やりたいことをみつけて思いっきり打ち込める環境です。勉強との両立は大変だと思うこともありますが、早めに対策をして、メリハリをつけて取り組めばやり遂げられます。また、体育部でも文化部でも、努力が結果につながる経験が自信となり、技術の向上はもちろん、持続力や周りに気を配る観察力、みんなを引っ張る指導力を培うことができると感じています。何より大きいのは仲間との存在。同じ目標に向かってアドバイスし合い、刺激し合って一緒にがんばることが、かけがえのない絆につながりました。クラブ活動で人と関わることの大切さを学び、多角的な視点を身につけたことを将来にも活かしていきたいですね。



ACCESS

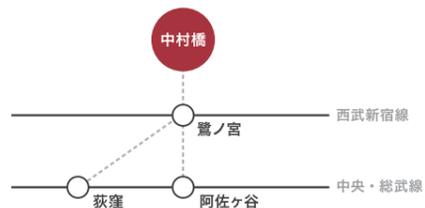
交通

西武池袋線『中村橋』から、徒歩わずか3分。2路線が乗り入れるバス停『中村橋駅』からは、歩いてたった2分と、好アクセスは富士見の大きな魅力のひとつ。また西武池袋線は、地下鉄有楽町線・副都心線や東横線・みなとみらい線との相互直通運転も行っているなど、ますます利便性が向上しています。さらに、登下校は中学生が東門、高校生が正門を利用して、混雑を避ける配慮も行っています。



□バスのご案内

- 鷺ノ宮駅から●中村橋まで約15分
- 阿佐ヶ谷駅から●中村橋まで約20分
- 荻窪駅から●中村橋まで約30分



□富士見中学校へのアクセス

西武池袋線『中村橋駅』下車→徒歩3分/関東バス『中村橋』下車→徒歩2分



INFORMATION

インフォメーション

学校説明会A [来校型/小6対象/10:45~] ▶web予約

学校教育全般・進学実績・入試について、校長や教員が説明します。

5月22日(土) | 6月12日(土) | 6月26日(土) | 7月3日(土)
 9月18日(土) | 10月2日(土) | 10月16日(土) | 11月6日(土)
 11月27日(土) | 12月4日(土) | 2022年1月15日(土)

*予約は各回の1カ月前から受け付けます。内容は保護者向けですが、児童も参加できます。
 なお、開始20分前から行事の映像を上映しています。<校内案内あり>

学校説明会B [ZOOMによるライブ配信/全学年対象/13:40~] ▶web予約

学校生活のさまざまな場面にスポットライトをあてて、生徒が説明するカジュアルなオンライン説明会です。入試についての説明はありません。

6月19日(土) | 9月11日(土) | 10月9日(土)

*予約は各回の1カ月前から受け付けます。

バーチャル校内案内 [ZOOMによるライブ配信/全学年対象/13:40~] ▶web予約

ZOOMによるライブ配信で、校内をご案内いたします。
 校内案内終了後はチャットによる質問も受け付けます。

11月20日(土)

*予約は1カ月前から受け付けます。

受験生のための事前準備会 [ZOOMによるライブ配信/全学年対象/13:40~] ▶web予約

2022年度中学入試に特化した内容をZOOMにて説明します。また、2021年度の第3回の入試問題と、午後実施した算数1教科入試の問題を使った解説動画を併せて配信します。

12月18日(土) | 2022年1月15日(土)

*予約は各回の1カ月前から受け付けます。

オープンキャンパス [新小5・6対象/13:40~] ▶web予約

入試結果報告会と模擬授業&クラブ体験を行います。

2022年2月26日(土)

*予約は1カ月前から受け付けます。保護者(入試結果報告会)と小学生(模擬授業&クラブ)を分けて行います。<校内自由見学あり>

英雪祭 [入試相談コーナー開設/生徒会による校内案内あり]

9月25日(土) 10:00~16:00 [入場は15:00まで]

9月26日(日) 9:00~15:30 [入場は14:30まで]

*体育祭・英雪祭にチケットは必要ありません。受験生用の受付にお越しください。ただし、男性のみや児童のみでの入場は、ご遠慮いただいております。

個別見学と説明 ▶電話予約

放課後の生徒の様子をご覧いただけます。

月曜日・火曜日・木曜日・金曜日 16:00~

土曜日 14:00~

*予約は3日前までお願いいたします。行事などによりご案内できない日もあります。

NOTICE!

新型コロナウイルスの影響により、学校説明会および公開行事の中止または実施内容を変更する場合があります。変更や追加の説明会がある場合はホームページでお知らせします。

